

# ♪吹奏太郎♪

- 第11号 - 1999. 5. 7 発行  
# 発行者：栃木県吹奏楽連盟広報部    b 発行責任者：手塚 豊

## 揚げ潮

栃木県吹奏楽連盟理事長 手塚 豊

文字どおり21世紀が指呼の間のものとなりました。この機に当たって、50年になんなんとする栃木県吹奏楽連盟の今日の姿をじっくり見つめ、時代の要請を踏まえ、吹奏楽の、そして吹奏楽活動の明日の在り方を皆さんと共に問い合い、衆知を集めて次世紀への一步を踏み出したいものと思っております。

コンクールが総てではないが、各種コンクールに於ける本県バンドの躍進や、定期演奏会・ジョイントコンサートの充実した演奏に接するとき、更なる発展を期待すると同時に、揚げ潮の中で明日を語る幸せを感じております。

指導者を中心に、部員が確かなスクラムを組んでの日々の精進の成果として、「吹奏楽の音楽の質を高めよう」というスローガンが、徐々にではあるが現実のものとなってきていることを実感しております。

文化創造の一連の活動がザイン（在る姿）を踏まえ、ゾルレン（在るべき姿）を求めての限りない創造の連続を意味することを考えるとき、「更にあなたの空遠く幸住むと人の言う」と言うように、揚げ潮の現状に満足することなく、更に更に前進すべく、皆で知恵を出し合い、活力に満ちた日々を、音楽をエンジョイする心構えをもって送られることを提案したいと思います。

吹奏楽活動を取り巻く環境は容易なものではありません。山積する課題の質も多岐に亘り、難易の度合いも千差万別の感がありますが、より高い音楽性の追求をとおし、「心の教育」の更なる推進、よりあたたかで深淵な人間の育成を目指し、衆知を集めて確かな歩み続けることを切望しています。



# 健闘を讃えて... 平成10年度アンサンブルコンテスト結果最終報告

## 第4回東関東アンサンブルコンテスト

平成11年1月24日 厚木市文化会館

小学校部門	金賞	宇都宮市立五代小学校 宇都宮市立五代小学校 作新学院小学部	金管五重奏 金管八重奏 金管八重奏
	銀賞	宇都宮市立昭和小学校	金管八重奏
中学校部門	金賞	<b>益子町立益子中学校（代表）</b> 宇都宮市立宮の原中学校 宇都宮市立宮の原中学校 宇都宮市立若松原中学校	<b>サクソフォン四重奏</b> サクソフォン四重奏 クラリネット八重奏 サクソフォン四重奏
	銀賞	益子町立益子中学校 小山市立小山城南中学校	打楽器六重奏 金管六重奏
	銅賞	宇都宮市立若松原中学校 宇都宮市立星が丘中学校	クラリネット五重奏 金管五重奏
	金賞	<b>栃木県立宇都宮北高等学校（代表）</b> 栃木県立宇都宮北高等学校 作新学院高等部	<b>金管八重奏</b> 打楽器六重奏 サクソフォン四重奏
高等学校部門	銀賞	栃木県立真岡高等学校 栃木県立真岡女子高等学校	サクソフォン四重奏 サクソフォン四重奏
	銅賞	作新学院高等部 栃木県立宇都宮南高等学校 栃木県立真岡女子高等学校	木管五重奏 サクソフォン四重奏 フルート四重奏
	銀賞	国際医療福祉大学 国際医療福祉大学	クラリネット五重奏 サクソフォン四重奏
大学部門	銀賞	国際医療福祉大学 国際医療福祉大学	クラリネット五重奏 サクソフォン四重奏
一般部門	金賞	宇都宮トロンボーンアンサンブル 宇都宮北高等学校吹奏部OB・OG	トロンボーン四重奏 打楽器七重奏
	銀賞	エネヴァレ・アンヌリス・サクソフォンアンサンブル	サクソフォン四重奏

## 第22回全日本アンサンブルコンテスト

平成11年3月20日  
アクロス福岡シンフォニーホール

中学校部門	金賞	益子町立益子中学校 ベネット作曲	サクソフォン四重奏 サクソフォン・シンフォネット
-------	----	---------------------	-----------------------------

#b#b#b# 芳賀・真岡支部コーナー b#b#b#b

# 祝！全日本アンサンブルコンテスト金賞受賞！！

～ 益子町立益子中学校のみなさんの喜びの声～

前述のとおり、大躍進を遂げた本県アンサンブル陣。芳賀・真岡支部では、益子町立益子中学校のサクソフォンカルテットが、見事、全日本で金賞受賞という輝かしい成績を収めました。本当におめでとうございます！指導者の石塚先生、メンバーの一人一人に、練習中の苦労話も含め、その喜びの気持ちを綴っていただきました。…

## 「全日本アンサンブルコンテストに参加して」

益子中学校吹奏楽部顧問 石塚正美

福岡市の中央にあり、近代的な総合オフィスビルのアクロス福岡。国際会議場やイベントホールなど国際、文化、情報のアジアの拠点として作られ、外はステッパガーデンが屋上まで続いている未来の都市の景観。そのビルの一画に、約2000席の客席を持つシューボックス型の本格的なシンフォニーホールがある。益子の田舎から来た者にとっては別世界に来た思いで、こんなすばらしいホールで演奏できるだけで満足であり、それ以上のことを誰が望んだらう。

「自分たちの演奏を楽しんで来い。」との私の言葉に、4人とも余裕の笑顔を見せてステージに向かった。演奏が始まり、4分間の長い緊張が続く。「響いている、自分たちの演奏をしている。」できればこの演奏をステージ袖でなく、客席で聴きたかった。演奏が終わり、拍手が鳴り響く。足が震え、紅潮している4人を握手で迎えた。応援にかけつけてくれた手塚理事長先生をはじめ、益子中学校の先生方や保護者の方々からもいい演奏だったと誉められ、栃木県の代表として、東関東の代表としての責任を果たした思いがした。

益子中では10月の定期演奏会が終わるとアンサンブルの練習に入る。校内オーディションにより代表2チームを決めたが、サクソフォンのメンバーの1人が事情により出場できなくなってしまった。思案のあげく、小学校でテナーサクソフォンの経験のあるファゴットの生徒に声をかけ、何とか県アンサンブルコンテストに出場した。そのようなことから、県や東関東の代表になるとは夢にも思っていなかったのに、費用を確保するのに練習時間を確保するのに苦労した。受

験生が1人いて、私も3年主任ということで多忙であり、バンドの練習終了後1時間だけ集中した練習を続けてきた。

「金賞」という発表に体中の力が抜け、熱いものがこみ上げてきた。無欲の勝利とはこんなことを言うのだろう。様々な困難を克服し、本番でも自分たちの演奏を楽しんだ生徒たち。この半年間に、演奏技術も精神面でも大きく成長した4人に大きな拍手を贈った。この貴重な体験を、これからの音楽教育に大いに生かしたいと考えている。応援をいただいた県吹奏楽連盟をはじめ、関係各位に感謝したい。



### 篠崎 樹理 1st Alto Sax.

私は、全日本アンサンブルコンテストに出場できたことが、いまだに信じられない気持ちでいっぱいです。東関東で代表に選ばれたときは、これまでの人生の中で一番うれしかったです。夢にまで見たアクロス福岡シンフォニーホールのステージに立ち、練習通りに、そして先生の言葉通り楽しんで演奏することができました。賞を取るなどとは考えていなかったのに、金賞の発表にステージの上で泣いてしまいました。あの感動を忘れず、これからもサキソフォンを続けていきたいと思えます。

私たちを支え応援してくださった皆様、ありがとうございました。



### 豊田 真李 2nd Alto Sax.

会場があまりに素晴らしいのでびっくりしました。こんな所で演奏できる私たちは幸せだと思いました。他の中学校の演奏は、各地区の代表ということもあり、どの学校もすごい演奏でした。賞など意識しないで自分たちの演奏をしようと思いました。リハーサルではあまり練習し過ぎず、チューニングをしっかりとやりました。時間に余裕があり緊張も少しずつほぐれ、落ち着いてステージに立てました。4人の演奏はこれが最後になるので、演奏中はこのまま終わらないでほしいという気持ちでいっぱいでした。表彰の時はさすがにドキドキして、金賞と言われたときはうれしくて涙が止まりませんでした。いまだに信じられませんが、夢の全日本大会が頑張れば意外に手の届く所にあるということがわかりました。



### 上野 智子 Tenor Sax.

「どの学校も楽しそうに素晴らしい演奏をしている。」全日本アンサンブルコンテストはさすがに各地区の代表らしく、どの中学校も堂々と演奏していて、聞き入ってしまう演奏ばかりでした。私たちも思い出に残る演奏をしようと約束し、ステージに上がりました。これが本当に4人の最後の演奏になるのだと思ったら、急に緊張感がとれて最高の演奏ができました。金賞と発表されたときは、大好きなファゴットをサキソフォンに持ち替え、ここまで頑張ってきてよかったと思いました。いつかまた、この4人で演奏したいと思えます。



